

口腔ケアの取り組み



歯科衛生士 望月 夏樹

センターでの口腔ケアの取り組み

病棟での口腔ケア

毎週それぞれの病棟でのブラッシングの実施

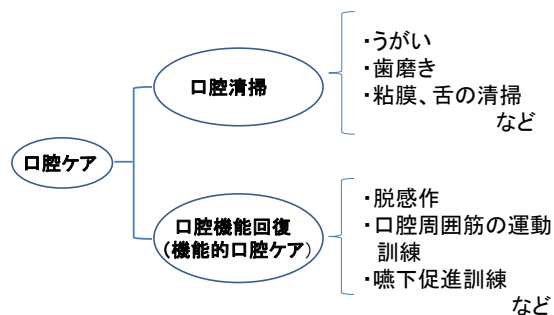


通所利用者への 口腔ケア・ 保護者への歯ブラシ 指導

定期的な検診時の口腔内の
チェック



口腔ケアとは？



口腔ケアの目的

- 1) 虫歯予防
- 2) 歯周病予防
- 3) 口臭予防
- 4) だ液分泌の促進
- 5) 誤嚥性肺炎の予防
- 6) 口腔機能の維持・回復

口腔ケア用品



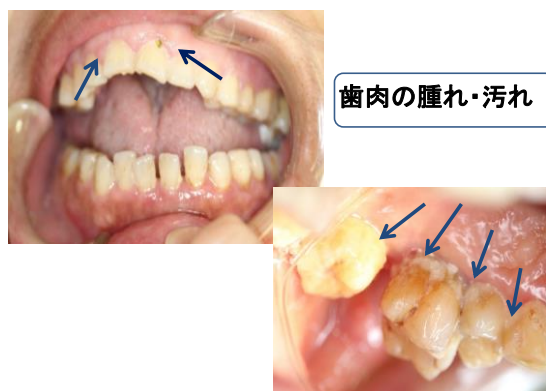
歯肉マッサージに使用している

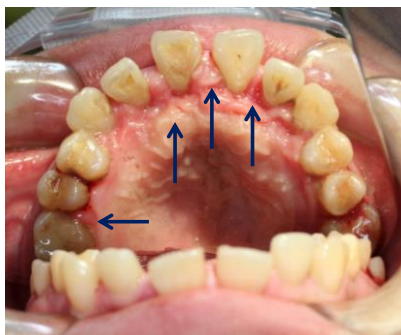


保湿剤



口腔内に起こる問題・現状





歯周病の進行による歯の移動・歯肉の腫れ



咬耗

深い口蓋



ガーゼによる拭き上げ



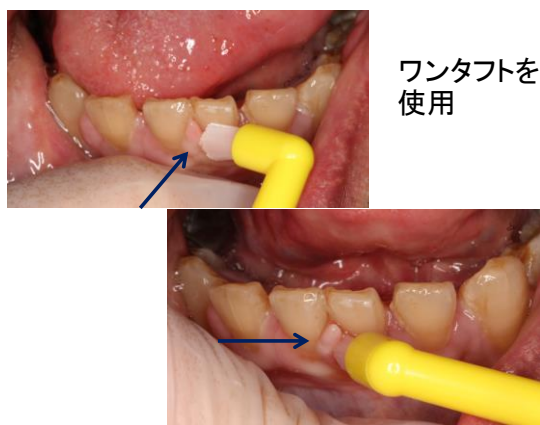
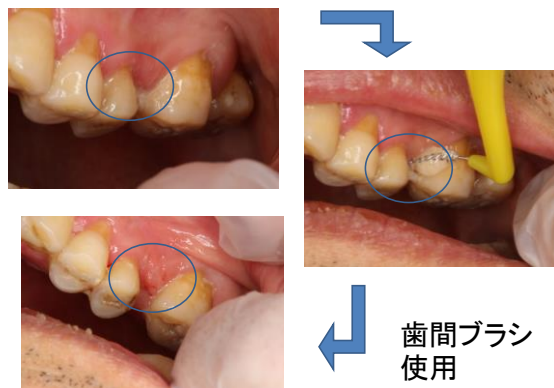
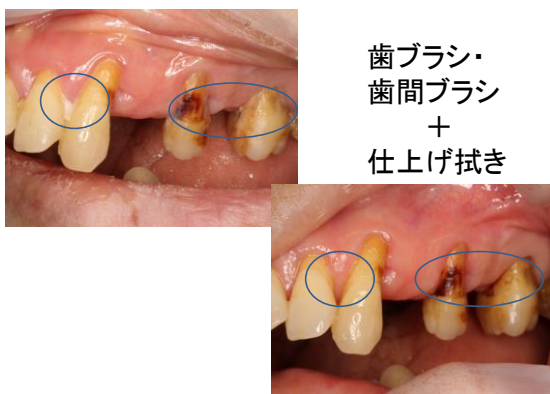
歯肉増殖による不正歯列



口から食べる

生活病棟と
医療病棟
の口腔内の違い

- 汚れがある(反芻・磨き残し)
- 歯茎の腫れ(歯間も含む)
- 歯ぎしりなどによる動揺歯



歯間ブラシ・ワンタフトを
併用し、歯茎の腫れや汚
れが多いところを重点的
に行う

口から食べない

- 乾燥による歯肉の発赤
- 歯肉増殖
- 舌の乾燥
- 口蓋の汚れ





乾燥した汚れ



舌の乾燥

保湿剤
+
ワタフト



保湿剤
+
歯ブラシ



音波ブラシによる歯肉マッサージ

音波ブラシによるマッサー
ジ・保湿に重点を置いたケア
を実施

病棟ブラッシングの流れ

- 1 声掛け
- 2 口腔内観察(腫れ、赤み、口内炎など)
- 3 ブラッシング(歯間ブラシ含む)・・・奥から磨く・
順番を決めて磨くなど
※音波ブラシによるブラッシング
- 4 消毒薬を含ませたガーゼで拭き上げる

ブラッシング時の口腔内の観察



口腔内の乾燥・・・保湿
上あごの痰汚れ・・・ネオステリンのガーゼによる
拭き上げ
歯肉の赤み・・・歯肉マッサージ
(音波ブラシが最適)



歯間ブラシを使用して磨くと良い部位
(隙間が大きく歯ブラシだと磨き残しが出てしまう)

31



唇を排除して歯肉の観察・ブラッシング部位の確保
(腫れ・汚れ・発赤確認)

32

実際のブラッシングの様子



実際の口腔ケアは？

- *時間が取れない
- *口を開けてくれない
- *ちゃんとできているかわからない
などなど

- ◎優先部位を決める
- ◎過敏の他に口内炎や歯茎の腫れ
などの確認
- ◎視野を確保する
- ◎歯間ブラシ、音波ブラシをきちんと活用する

病棟Q&A

★効率的にブラッシングを行う為には？

- ①10カウント数えながら口腔内を分割して磨く
- ②ブラッシング中の開口の手伝いをする
- ③ブラッシング部位の視野の確保

★嘔吐反射の強い方に対する口腔ケアは？

- ①小さい歯ブラシ(タフト)を使用する
- ②口を大きく開けすぎないように顎を抑えながらブラッシングを行う
- ③鼻にココアバターやリップクリームを塗り、鼻呼吸を促す

など

★保湿剤の有効な塗布方法

- ①水で濡らしたスポンジを使用した塗付方法
(薄く全体的に塗布できる)
粘膜・舌などの保湿に使用する



38

最後に

継続する

口の中を観察し、変化を見逃さず
ブラッシングを行っていくことが大切です

